

同友ぐんま

第410号

2016年

4月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp



二月十二日(金)～十三日(土)の二日間、前橋市内の音羽倶楽部を会場に「第二十期経営指針をつくる会・発表会」を開催。

昨年七月末からの約半年間、全六講に及ぶ研修の集大成として、参加者それぞれが学び合い、会社の将来と真剣に向き合いながらまとめ上げた「経営指針」が披露されました。

第五講までは沼田市内の会場を利用してきましたが、同友会の中の心的な活動である「経営指針の文化」を広く啓蒙するため、前年同様、第六講・発表会は前橋市内に会場を移

して開催。経営指針に高い関心を持つ方、来期の受講を前向きに考える方など、県内全域から延べ二十名を超える見学者も集まりました。

発表・質疑応答・アドバイスを含めて一社概ね六〇分の持ち時間を使い、経営理念に込められた思い、今後の方向性を指し示す経営方針、数値・行動にまで落とし込んだ経営計画を発表していった参加各社。企業を取り巻く経営環境は目まぐるしい変化の渦中にありますが、いずれの参加者からも「絶対に良い会社にする」という強い意志がヒシヒシと伝わる、中身の濃い経営指針の発表となりました。

丸二日間、二十社以上が発表を行うハードスケジュールではありましたが、自社の発表時間だけでなく、他社の指針書や取り組みからも多くの学びが得られたものと思います。「学ぶことはマเนอร์なこと」と言われるよ

半年間に及ぶ研修の集大成

第20期経営指針をつくる会・発表会



うに、他社の良い部分を参考にしつつ、さらなるブラッシュアップが期待されます。

参加者レポートには、「自社の方向性と、そこに向かうための方策が見えたが、まだまだ課題が多いことも実感した」「連続参加で経営指針書が磨かれ、それに伴って業績も良くなっている。来年以降もさらに進化させたい」「厳しい局面を変革する明確な目標設定ができた。一つ一つ確実に実践していきたい」などが綴られていました。

来期の「経営指針をつくる会」も今年度同様、夏からの開催が予定されています。詳細については決定次第ご案内いたします。ぜひご参加ください！

20年後の未来を語ろう

青年部会2月例会

「二十年後の未来を語ろう」自分・会社・業界・日本・世界はどうなってる?」と題して、青年部会二月例会を開催しました。青年部会メンバーの平均年齢は約四十才、二十年後も現役世代として経済を牽引する観点から本例会を企画。人口減少・超高齢社会がもたらす影響、技術革新による働き方の変化、日本と世界の情勢など、幅広い分野について語り合いました。



グループ討論で示されたテーマは、①自社を取り巻く二十年後、②無くなるもの・衰退する業種、③日本の情勢・世界の情勢、④面白い材料・潜在する可能性、⑤自分・自社は今から何をするべきか?、⑥その他。それぞれのテーマをバランス良く、あるいは一つのテーマを深く掘り下げるなどして、各テーブルで侃々諤々の討論を交わしました。その後、模造紙にまと

めた討論内容をグループごとに発表し、情報共有を図りました。参加者アンケートには「十年後も三十年後でもない、二十年後の未来というのが絶妙な設定だった」「色々な考え方や物事の捉え方に触れ、新しい気づきや発見が得られた」「ネガティブな要素も確かに多いが、可能性も無限にあると感じた」などの感想が綴られていました。

高崎産業技術専門学校との交流会

高崎支部2月例会

群馬県立高崎産業技術専門学校を会場に「高崎支部二月例会」を開催。同校のメタル技術課・機械技術課・住まいづくり課で学ぶ生徒との交流会を企画し、総勢八十三名(うち学生五十三名)が参加しました。高崎支部では通算五回目の「県内学生と企業との交流会」になります。開会挨拶・趣旨説明に続き、三朋企業(株)・秋山さんが「入社して一年、今の思い」と題して、



社会人の先輩として自身の体験を分かりやすく伝えました。続いて、(株)山岸製作所・山岸社長が「求める人材と中小企業の魅力」と題して、大多数の経営者が共感する事柄を中心に、自社の取り組みを織り交ぜながら問題提起しました。

その後、学生・経営者が十テーブルに分かれてグループ討論を実施。「働くとは」「社会人として」「中小企業の魅力」などをテーマに、各人の考え方や経験談、学生が抱く不安や悩みに至るまで、活発な意見交換が行われました。

参加学生のアンケートには「とても貴重な体験だった」「もつと色々と聞きたい」「また開催してほしい」「また開催してほしい」などの感想・意見が綴られていました。早速、来期も開催する方向で学校側との調整を進めています。

笑顔1番

看板2番



かんぱん各種
電光掲示板
ステッカー
デザイン
群馬テレビ 代理店
とちぎテレビ 代理店
fm Gunma 代理店

地域密着型フリーペーパー

ふりペこ

活気ある街並み創る
東和広告システム



株式会社
東和広告システム

〈本社〉 桐生市境野町7-50-1 ☎ 0277-32-5503
〈高崎〉 高崎市菅谷町369-1 ☎ 027-388-0356
〈埼玉〉 加須市騎西31-1 ☎ 0480-31-8412
〈宇都宮〉 宇都宮市兵庫塚3-10-24 ☎ 028-678-6631

本格外断熱、コテ模様仕上げ 世界初!

発泡スチロール球入りZウォールは、暖まった部屋が冷めにくいという節電効果ともう一つ、壁内結露の減少により長寿住宅にするという目的があります。

【小冊子無料送付】送付先明記でFAX、メールにてご請求下さい。“塗り替えをする前に知っておきたい知識”

高品質・高機能塗装 (有)クチキテック 携帯 090-4911-8900

代表取締役 朽木 康 TEL 0278 (22) 0691

〒378-0015 沼田市戸鹿野町324-3 FAX 0278 (22) 0696

E-mail: kuchikitec@yahoo.co.jp URL: http://www.kuchikitec.jp クチキテックで検索

本店・高崎店 共通お客様フリーダイヤル 0120-51-4152

施工前



施工後



ぶれない思いの経営をめざす

伊勢崎・埼玉北部地区会合同例会



二月十六日（火）、伊勢崎市民プラザを会場に「伊勢崎支部・埼玉北部地区会合同例会」を開催。本合同例会は年に一度の恒例行事としてすっかり定着し、回を重ねること七回目になります。今回、例会企画と会場設営を伊勢崎支部、報告者選出を埼玉北部地区会がそれぞれ担当し、例年以上に密に連携を図りながら例会づくりを進めてきました。

伊勢崎支部の例会企画に基づき、報告者を埼玉北部地区会のリングス不動産販売㈱、代表取締役・小杉公良氏が務め、「ぶれない思いの経営をめざす」人を軸にした組織づくりへの挑戦」をテーマに、自身の経営体験を率直に語りました。

小杉氏は、不動産会社の営業マンとしてキャリアを積んだ後、平成七年に独立。その理由を「人生で一番高い買い物をするお客様に対し、業界全体にサービス業という意識が低かった。自分で会社を立ち上げ、お客様に選ばれる仕事をしよう」と



思った」と語り、創業時の理念やエピソードを紹介しました。

創業から約十年、順調に業績を伸ばし、組織づくりが不可欠になるなかで、自社の給与制度に疑問を持つ出来事に直面。「モチベーション＝お金の古い体質。優良な同業他社は既に歩合主体の給与制度から脱却していた。当社も給与制度の見直しを実施したが、約半数の営業マンが辞めてしまった」という苦い経験振り返りました。

新卒の定期採用を始めた理由については、「たまたま新卒三名を入れたら想像以上に良かったから」と語り、中途採用と比較して「働く姿勢が真面目で仕事を覚えるのも早い」「社内には階層が生まれ、先輩が後輩に教える風土ができた」「結果として定着率がアップした」などの効果を説明。「あのとき新卒採用に取り組まなければ今の会社

はない。経営計画を実行するのは人。だからこそ採用活動は大事」と明言しました。

報告終了後は、伊勢崎・埼玉北部の会員をバランス良く編成してグループ討論。「ぶれない思い（理念）の経営」「採用・人材育成・組織づくり」をテーマに、経営理念の意義や各社の取り組みなどについて意見交換を行いました。また、会場を移動しての懇親会も大いに盛り上がりしました。

参加者からは「所属は違っても直ぐに親しい間柄になれる。同友会って素晴らしい」「やっぱり合同例会は刺激になるし学ぶことも多い」「今後も支部（地区会）や県を越えて交流を続けましょう」などの声が聞かれました。



開拓し続ける礎となったもの

前橋支部2月例会

二月二十四日

(水)、同友会事務所・会議室を会場に前橋支部2月例会を開催。「VISION」開拓し続ける礎となったもの」と題し、スーパージョーンヘアーの製造・販売を行うルアン(株)、代表取締役・阿部稔氏(前橋支部)が、波乱に満ちた半生とこれまでの経営を語りました。



本題に入る前に、スーパージョーンヘアーをその場で実演。阿部社長の頭が瞬く間に黒々と若返る様子に参加者からは、歓声とともに拍手が沸き起こりました。さらに、例会に参加していた関東防災工業・宮崎会長も実演に参加。その効果を身をもって参加者にアピールしました。

一円に営業所を構え、社員も百名近くいたことなどを紹介。しかしリピート率が悪く、売上が減少し続けた結果、営業所を閉めることになりました。最後に残ったのは本社と数名の社員だけでした。そんな状態からの再起をかけて開発したのが「スーパージョーンヘアー」でした。今でこそ世界七〇カ国以上に

商品販売していますが、そこまでの道のりは苦勞の連続で、「最初はお荷よりも返品のほうが多かった」と当時を振り返ります。そうした中でも「最初は一つの商品を徹底的に突き詰める事が大切」という考えのもと、地道に営業活動を続け、日本全国の都市を十五年かけて三周したエピソードも紹介しました。

阿部社長は「今までの経営は全てが運だと思っている。営業に向いていたのも運、努力を続ける才能があったのも運。そうした運命で生まれてきた結果、今



がある」とまとめ、参加者に向けて「経営者として十分な能力を持つ皆さんには、与えられた運と使命を全うしてもらいたい」と、エールを送りました。

と意見交換の中で感じた「オンラインワンの商品をグローバルに展開する難しさを話し合えた」「ルアン銀座ビルから脱線し、銀座の話題が中心だった」など、様々な討論内容が発表され、大いに盛り上がる例会となりました。

どん底からの幸せ

渋川吾妻支部2月例会

二月二十四日(水)に開催された渋川吾妻支部例会は、TM企画代表の佐藤とし子氏が「どん底からの幸せ」生きてる証し、自分を支えるものは？」と題して報告しました。



音楽大学卒業後、結婚を機に夫(故人)が社長をつとめる割烹旅館の女将として活躍していた佐藤氏。しかし、ある時、社長が信頼していた人に裏切られ莫大な負債を抱えることに…。

入れ、自らの糧としてきたことが向えました。

佐藤氏は、乗っ取り、裁判、ヤクザ・整理屋、夫との永別、限定承認(相続)と、壮絶な体験の数々を赤裸々に語りました。

「たいへんな中で得たことも少なくないんです」と語る優しい笑顔からは、すべてを受け

参加者からは「佐藤さんに出会えて本当に良かった。人生を生きていくヒントになりました」「物事を違った角度から捉えられれば自分の成長につながる」と感じました。「佐藤さんの器の大きさを改めて感じました。何があっても人のせいにならず、仲間を大切に、感謝する心を忘れないようにしたい」等、感動の言葉が多く聞かれました。

経営指針成果発表

太田支部2月例会

二月二十五日(木)、九合行政センターを会場に「太田支部2月例会」を開催。今年度の経営指針をつくる会に太田支部から参加した(有)大沼フレイム工業所・大沼氏、(株)ニノミヤ・柳岡氏の二名が、指針作成に取り組んだ目的と合わせて、その成果を発表しました。

「自社の経営を数字で分析したかった」と語る大沼氏は、二



年かけて形にした指針書について「継続して作成する事が大切。今後の課題は社内への浸透」としました。柳岡氏は「会社の方性を示す理念が欲しかった」と一年目を振り返り、「毎年作る事を目的に、二年目の参加を決めた」と語りました。

それぞれの目的で作成された指針書は、二年連続での参加という事もあり、得意先分析や数値計画などが明確に記されていました。

参加者アンケートには「各種分析に基づいて指針書を作成する姿に、経営に対する意識の高さが見て取れた」「二年目とは思えない完成度にびっくりした」「数字と結びつけて考えると、経営者の想いが明確に伝わってくる」などの感想が記されていました。

兄弟経営(同族経営)を考える②

桐生支部2月例会

桐生支部2月例会は「兄弟経営(同族経営)を考える」の第二弾。精密研削加工の(株)アミイダ、専務取締役・阿久戸英男氏



(太田支部)が報告者を務め、「兄弟後継者(社長(兄)と専務(弟)、切磋琢磨の会社づくり)」をテーマに、自身の経営体験を語りました。

「上手く行かない会社も多いが、アミイダは兄弟経営の成功例と自負している」という第一声から報告をスタートさせた阿久戸氏。生い立ちや家庭環境、入社前後の思いなどを振り返った後、自身の考え方や兄弟の絆

に多大な影響を与えた出来事として、「兄への感謝」「父(創業者)の死」「社員の支え」などの各エピソードを紹介しました。また、実体験に基づく「弟の本音」も語られ、参加した兄弟経営者(特に兄)は興味深く耳を傾けていました。

報告終了後は「兄弟経営(同族経営)」をテーマにグループ討論。「一朝一夕で関係づくりはできない。各社で最良の方法を探す必要がある」「共通の目的(会社)のために団結するのが理想の姿」など、活発な意見が交わされました。

元気なころ、作っていますか？

沼田支部2月例会

二月十六日(火)、利根沼田文化会館を会場に、二十五回目となる「沼田支部(社員)共育例会」が開催されました。「元気なころ、作っていますか？」のテーマのもと、心のあり方を題材にした講演動画を視聴し、経営者と社員が「幸せ」についてグループ討論を行いました。

討論テーマが抽象的だったこともあり、自分が感じる幸せをシートに書き出す事からスタート

トしました。書き出された内容の相違点や、どんな時に幸せを感じるのか？また、どうしたら感じられるのか？などを経営者がグループ討論をリードし、掘り下げていきました。

参加者アンケートには「こちらの持ちようで幸せは変化する」「幸せは自分で見つけるもの」「自分以外の人の価値観に触れる良い機会だった」などの意見が記されていました。今年

度の沼田支部スローガン「怒り優しさと思いやりの経営」に沿った「心」を考える有意義な時間となりました。



会員企業紹介

わが社の

イチオシ

双方の利益を考えた レンタカー事業構想が始動！



ACE Auto Service

代 表 中根 雅視 氏 (前橋支部所属)



Q & A

▼会社概要&自己紹介

当社は、私が二十九歳の時に中根政務店として創業し十二年が経ちました。昨年、社名を変更し新たな気持ちで頑張っているところ。自動車整備を中心、メーカーの保証修理以外は、販売から保険まで業務対象です。小学生の頃、自宅の庭で親のバイクに乗り、エンジン付きの乗り物に感動したことが自動車業界に入るキッカケの様に思います。

国産ディーラーのメカニックとして十二年勤務し、自宅のガレージを仕事場に独立しました。今年に入り移転しまして、

駐車場・整備スペースとも広くなりましたので、お近くにお越しの際には、お土産を持って是非お立ち寄りください。(笑)

▼新事業を始めたのですが

レンタカー業務を開始しました。現段階でのターゲットは近隣の自動車整備工場などの同業者様です。事故修理の際に保険費用でレンタカーを使うことが多くありますが、その費用はレンタカー業者に直接支払われ、整備工場に紹介料が支払われることはありません。そこに違和感を感じ、当社をご利用頂いた場合は請求額の三〇%を紹介料としてお支払いします。これは脅威の還元率だと思います。双方にメリットのある関係づくりを意識した結果、ご好評頂いております。現在も二〇台近く用意している車両の八割以上が稼働中ですが、依頼が多いということは、自分の様に違和感を感じていた方が多いということではないでしょうか？

▼キッカケと今後について

以前から興味のある分野でした。というのも私が個人で所有するポルシェに「乗ってみたい」というお客様に「個人の車だから



に乗っていいよ」と言っても「ぶつけたら大変だから」と、乗らない。そんなお客様から需要を見出しました。

自家用車を選ぶ時に、家族構成や実用性、価格などの条件で「買えるけど買わない」という選択をした方も多いと思います。特に二人乗りのオープンカーなど、所有はできないけど代車やレンタカーという期間限定なら乗ってみたい。という方をメインターゲットに考えています。「手元に好きな車を色々置いておきたい私の気持ちと、そういった車は買えないけど乗ってみたい」という双方の欲求を満たすのは、この仕事だからこそだと思います。

台数・車種共に、徐々に増やしているところですが、二年以内には一般顧客向けサービスを本格的に開始する予定です。現

在の業者向けサービスを第一ステップとして、事業の基礎を確立させ、最終的には一般顧客向けレンタカー事業を、今までの整備事業に並ぶ柱にする構想です。

▼課題などは

現実的な問題として、コスト増を見込んだ仕事量の確保が必要になります。単価を上げるのではなく、増えたコスト分を仕事の量で補いたいと思っています。今後を見据え、メカニック一人の採用は決まりましたが、今まで一人でやっていた事を任せる不安もあります。しかし、もう一歩先のステージは見えていますので、私は苦手な営業で仕事を増やすことに注力し、着実に前進したいと思っています。

また、車とは関係ありませんが、海外の友人を窓口に入力・輸出代行も行っています。海外製品など、自動車部品に限らず対応可能です。インターネットが普及し、直接やりとりが出来るようになりましたが、不安に感じる部分もあるかと思いますが、ご相談頂ければ可能な限りサポート致します。

所在地／前橋市上細井町1006-2
連絡先／TEL027-289-2717

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【「骨髄バンクについて知る会」開催】(株)メモリード

冠婚葬祭互助会大手の(株)メモリード(副参事・戸塚邦夫氏/前橋支部所属)は1日、ロイヤルチェスター太田で従業員を対象にした「骨髄バンクについて知る会」を開催した。主催したのは同社が15年6月に発足した6人編成の社会貢献チーム。これまでにエコキャップ運動、救命講座の参加、認知症サポーター講座の実施、児童養護施設対象七五三フォトサービス、地域防犯パトロールの実施などさまざまな活動に取り組んでいる。今回の「骨髄バンクについて知る会」はドナー登録の呼び掛けに少しでも協力したいと考え「まず社員一人ひとりが骨髄バンクを知ることから始めよう」と企画したもの。約200人の社員らが参加した。

[3/10付ぐん経]

【第3期の施設拡張工事完了】

(株)ナカダイ

産業廃棄物処理業の(株)ナカダイ(取締役常務・中台啓一氏/伊勢崎支部所属、管理部長・越智靖政氏/前橋支部所属)前橋支店はこのほど、14年から進めてきた施設拡張の第3期工事を完了し、新規設備を稼働させた。従来よりもRPF・木材チップの処理能力は倍増となる。拡張工事は、1期が既存施設を改修。2・3期で屋外処理施設として利用していた敷地内北側の土地に、全天候型施設(1000平方メートル)を段階的に整備した。

中台常務は、「廃棄物を資源にリサイクルする役割に加え、さまざまな期待にこたえていくことで、

社会に貢献していきたい」と話している。

[3/17付ぐん経]

【終活セミナー&ワンコイン食卓会】(株)メモリード

冠婚葬祭互助会大手の(株)メモリード(副参事・戸塚邦夫氏/前橋支部所属)は2月から「終活セミナー&ワンコイン食卓会」を始めた。通常5000円で提供している法事料理をイベント参加者には500円で提供。おつくり、煮物、揚げ物、メイン肉料理、食事、デザートなど8品以上の懐石料理が500円で賞味できるとあって希望者が相次いでいるという。完全予約制。

[3/24付ぐん経]

【4月2日グランドオープン】

(株)メモリアル

高崎市の新斎場近隣地に家族葬を中心に運用する「リス フェューネラル ホーム」が4月2日にグランドオープンする。3月30、31、4月1日には関係者を招いたプレオープンイベントを開催。4月2、3日には一般向けの完成内覧会を開く。葬祭ホールを運営す(株)メモリアル(代表取締役・松村道子氏/桐生支部所属)と総合ギフト商品卸のヨシダの共同出資会社さくらホールディングスが開設する。28日に設立するリスが運営会社となる。

[3/24付ぐん経]

【社名変更】

矢沢化学工業(株)代表取締役・松下眞一郎氏(太田支部所属)では、この度、「ウォールボンド工業(株)」に社名を変更しました。

部品加工の 株式会社 マテハン

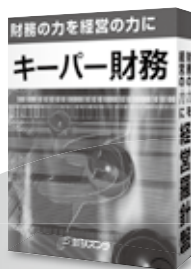
同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。

ホームページで仕事の受注が出来ました。
好評「部品加工のマテハン」

URL: <http://www.kk-matehan.co.jp/>
E-mail: mth@kk-matehan.co.jp

従業員数 12名
代表取締役 島山 淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL 0276 (37) 4571
FAX 0276 (37) 4562

キーパー財務15・経営羅針盤15



財務の力を経営の力に

キーパー経営羅針盤15なら、会社でも自宅でも自社の財務状況をリアルタイムに把握し、チェックすることが可能です。

同友会 高崎支部会員

株式会社 シスプラ

<http://www.syspla.co.jp/>

TEL 0120-638-377

群馬県高崎市関原町3-10-3 関原町センター第2ビル
TEL 027-363-8377 FAX 027-363-8313

これからもお客様の信頼を糧に

私たちはできること。
それは
未来の地球のために、
そしてお客様にも、
やさしい企業であること。

「水なし印刷」をお勧めします

「水なし印刷」は、有害な廃液を含む湿し水を一切使用せず
現像工程の現像液使用量・廃液量も大幅減、またCO₂排出量も削減します。
環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。
私たちは、これからも環境に、お客様にやさしい企業を目指します。



JOBU PRINTING CO., LTD.
TELEPHONE 027(352)7445 FACSIMILE 027(352)2953
E-mail: eigyo@jp-t.co.jp URL: <http://www.jp-t.co.jp>

上武印刷株式会社 〒370-0015 高崎市島野町890-25



新会員
ご紹介3月度常任理事会承認
会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

高崎支部

キラバ 〒370-0071 高崎市小八木町312-15 ビジネスパーク小八木2F
TEL : 050-3738-9356代表
松本 えり奈
S54年生

デザイン・webデザイン、撮影、動画編集など

【紹介者／細潤 敦】

写真撮影・デザイン・ウェブ・印刷物などをトータルで提案するコンテンツ企画・開発組織です。ウェブサービスとしてタッチサービス【PHOTO KIREI】6万円からのホームページ【ウェブスターター】を運営しています。

高崎支部

株式会社skyマネジメントコンサルティング 〒371-0805 前橋市南町2-43-11 SK21ビルB棟2F
TEL : 027-212-6644
FAX : 027-212-6645代表取締役CEO
鈴木 智 統
S49年生逆算思考の利益計画策定、経営計画書の策定、経営会議のサポート等
読書

【紹介者／横須賀巧哉】

月次決算書、経営計画書、経営会議などを駆使した独自の手法「skyメソッド」と「パートナー型コンサルティング」で中小企業の夢の実現と目標達成を全力でサポートします。「上から目線」ではなく「横に並ぶパートナー」として、経営者様の「ワクワクするビジョン」と「本質的な成長」と「社員の幸せ」の実現をお手伝いします。たくさんの方と出会い、喜びを分かち合えたいと思いい入会させていただきました。よろしくお願ひいたします。

伊勢崎支部

小林潤税理士事務所 〒371-0805 前橋市南町2-43-11 SK21ビルB棟2F
TEL : 027-212-6644
FAX : 027-212-6645所 長
小 林 潤
S51年生経営において避けて通れない画期的3要素 ①税金 ②資金繰り ③会計数字に裏する不安を解消します。
ギター

【紹介者／横須賀巧哉】

顧問先である中小企業経営者の皆さまより、色々な相談を受けてきたなかで、自分自身がサラリーマン税理士であることの限界を感じ、自らも経営者として同じ目線に立ってサービス提供するために起業しました。まだまだ経営者としては未熟者ですが、会員の皆さまと積極的に情報交換を行い、たくさん勉強させていただくつもりですので、どうぞよろしくお願い致します。

太田支部

(株)ぷらすてん 〒373-0852 太田市新井町553-5-201
TEL : 0276-30-0200
FAX : 0276-30-0201代表取締役
加藤 眞 司
S46年生青果物仲卸売業
スポーツジム通い、ゴルフ、舞台鑑賞

【紹介者／内山和則】

農産物の流通を通して、世界平和に貢献します。契約栽培農産物のプロデューサーとして、作り手と使い手の幸せ創りをお手伝いしています。同友会会員の皆様の幸せ創りにもお役に立てればと思っておりますので、宜しくお願い致します。

【議 事】
洪川吾妻支部の植杉副支部長が議長をつとめ、山岸代表理事挨拶のもと、第十一回理事会開日時 三月一日(火)
十八時三十分
会場 同友会事務所
出席者(順不同・敬称略)
正副代表理事／山岸、田村、相沢、常任理事／丹羽、吉池、杉崎、生沼、平岩、高橋、町田、榎原、阿左見、理事／海老沼、遠山、諏訪、高橋、植杉、金井、事務局／黒岩、阿久澤、竹内(役員計十八名)I. 報告連絡事項
1. 支部・部会・委員会報告
各組織代表者より、報告や案内連絡、依頼等がありました。
2. その他
○杉崎青年部会長より、四月に千葉で開催される青年経営者フォーラムの案内がありました。
○事務局より東日本大震災復興シンポジウムの案内がありました。
○吉池社員教育委員長より新入社員研修会の参加案内がありました。
○阿久澤事務局員より中小企業問題全国研究集会(香川)の報告がありました。II. 承認事項
1. 二〇一五年度活動報告案の承認について
二〇一五年度の活動報告案について審議し、これを承認しました。
2. 入退会者承認と仲間づくり推進について
前回理事会以降の入会者四名、退会者ゼロを承認。会員数は五二六名となりました。
くわえて、伊勢崎支部が今年度の入会目標を達成したことが報告されました。III. 審議事項(意見交換)
1. 二〇一六年度活動方針案の審議承認について
部門方針を含めた新年度の活動方針案について、部会長・委員長からの説明を交えながら慎重審議を行い、総会提案としてこれを承認しました。
IV. その他
1. 次回の理事会開催日程
第十二回理事会を左記の通り開催することを確認しました。
日時：四月五日(火)
十八時三十分より
会場：同友会事務所・会議室アルミ精密部品の切削加工メーカー
有限会社 エーピーエム充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL : http://www.apm-f.com E-mail : fuse@apm-f.com

消防設備・電気設備・PDCE避雷針のことなら

関東防災工業株式会社

■本 社 〒371-0857 前橋市高井町1-29-7
TEL (027) 251-3535
■安中営業所 〒379-0126 群馬県安中市西上磯部1736
TEL (027) 385-5261
■東毛営業所 〒370-0514 群馬県邑楽郡大泉町朝日5-8-21
TEL (0276) 55-3770